



RDD2017

世界希少・難治性疾患の日／Rare Disease Day

RDD
(アールディディ)
とは？

Rare Disease Day (レアディーズデイ)の略。希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指し、毎年2月28日(うるう年は2月29日)に開催される世界同日イベントです。

2008年にスウェーデンから始まり、2016年には全世界85カ国にまで増えました。

日本でも2010年から開催しており、RDD2016は全国32箇所で公認開催され、回を重ねるごとにその輪は広がり大きな反響を呼んでいます。

上映会

「風は生きよという」

日	時	2017年2月28日(火)
場	所	仙台市福祉プラザ 1Fプラザホール
開	場	12:00
開	演	13:00
上映時間		13:10~14:35
監督との対談・トーク		14:50~15:30(終了)

入場無料
問合せ先

TEL 022-796-9130
メール mpc.miyagi@beetle.ocn.ne.jp

主催 NPO 宮城県患者・家族団体連絡協議会

【主催】 RDD日本開催事務局
✉ rdd@asrid.org

公式サイト▶ <http://www.rarediseaseday.jp>
facebook®▶ <http://www.facebook.com/rddjapan>

【後援】 厚生労働省/日本難病・疾病団体協議会(JPA) / 難病のこども支援全国ネットワーク / 日本製薬工業協会 / 国立研究開発法人国立成育医療研究センター / 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター / 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 / 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 / DIA Japan / 全米希少疾患患者協議会(NORD) / 他 (順不同/申請中を含む)





風は生きよという

宍戸大裕 監督作品

呼吸器から吹く風に乗り、つながりあう人と人との物語

呼吸器から吹く風に乗り、つながりあう人と人との物語。
 もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かせなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？
 映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。
 特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。
 人工呼吸器。ひと昔前、それは巨大な鉄の箱で出来ていた。
 こんなものに頼るならいっそ死んだ方がまし— そう思われるには、十分すぎる見た目だった。
 いま、呼吸器はお弁当箱に様変わり。
 散歩も旅行も買い物も、ひとり暮らしさえも可能にしてくれた。
 呼吸器からは、休みなく空気が流れてくる。「シュー、シュー」と、まるで風のように。
 淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に出会え、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。
 じんわりとところどころを揺する、人と人とが織りなす物語。
 もしもあなたに、思うように身体を動かさない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。
 映画の中を駆け抜けていた、風の音を。
 その風に包まれた人と人とが、支えあいながら生きていたことを。
 2015年 / 日本 / 81分 / ドキュメンタリー

会場のご案内

仙台市福祉プラザ 1F プラザホール

〒980-0022

仙台市青葉区五橋 2丁目 12番 2号 022-213-6237

【バス】

市営バスまたは宮城交通バス（仙台駅前から約3分 運賃170円）

「五橋駅」下車 徒歩4分

「福祉プラザ前」下車 徒歩3分

【地下鉄】

市営地下鉄南北線（仙台駅から「富沢行き」に乗車 約1分

運賃 200円）

「五橋駅」下車 南1番出口から徒歩3分

